

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	体験型運動療育WeppyLabo		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導訓練室が清潔で、運動療育を行う上で十分なスペースが確保されている点。	環境整備を細かにを行い、利用者が安全に活動できるスペースを確保している。	今後も環境整備を細かにを行い、利用者が安全に運動療育を受けられることができる環境を作る。
2	共感的な支援を行えており、保護者などの情報共有もしっかりとできている点。	送迎時などに保護者との情報を共有するようにしている。また、個別に管理者などから保護者に連絡を取り情報共有を行っている。	今後も連携を密にとり、共感的な支援を行えるよう情報共有を大切にしながら支援を行う。
3	利用者が安心感を持って利用でき、また楽しんで利用できている点。	スタッフが一緒に活動するなどして安心感を持って利用できるようにしている。活動も固定化させずに毎日楽しんで利用できるようにしている。	プログラムの立案をスタッフ全員で行い、活動を固定化させないよう努める。スタッフも一緒に活動し、利用者が安心感を感じながら楽しんで過ごせるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業所、放課後児童クラブや児童館との交流の機会がない。	施設の近くに児童館などがなく、平日は利用時間の関係で外出する機会も少ない。感染症対策や交流する場所、時間を考えると難しい。	長期休暇などで時間がとれる日などに交流を検討していく。
2	父母の会など保護者同士で交流する機会がない。	保護者同士で交流する場を設けられていない。保護者間のトラブルにつながる可能性を考えると難しい。	今後も保護者同士で交流する機会が作れるか、タイミングを見ながら検討していく。
3	家族等が参加できる研修会などができていない	研修を行うとなると保護者に時間の都合をつけてもらうことが難しく、また場所の提供も難しいなど検討すべき点が多く実施が難しい。	外部の研修の案内などがあれば保護者に伝えていく。内部の実施は検討していく。